

2. 流域および河川の自然環境

2.1 流域の自然環境

(1) 河川環境区分

加古川の環境区分については、地形・支川合流等を踏まえ、篠山川合流点から源流部まで（52.0k 上流）を上流部、美囊川合流点から篠山川合流点まで（15.8k～52.0k）を中流部、古新堰堤から美囊川合流部まで（3.85k～15.8k）を下流部、河口から古新堰堤まで（0.0k～3.85k）を感潮域と分類した。

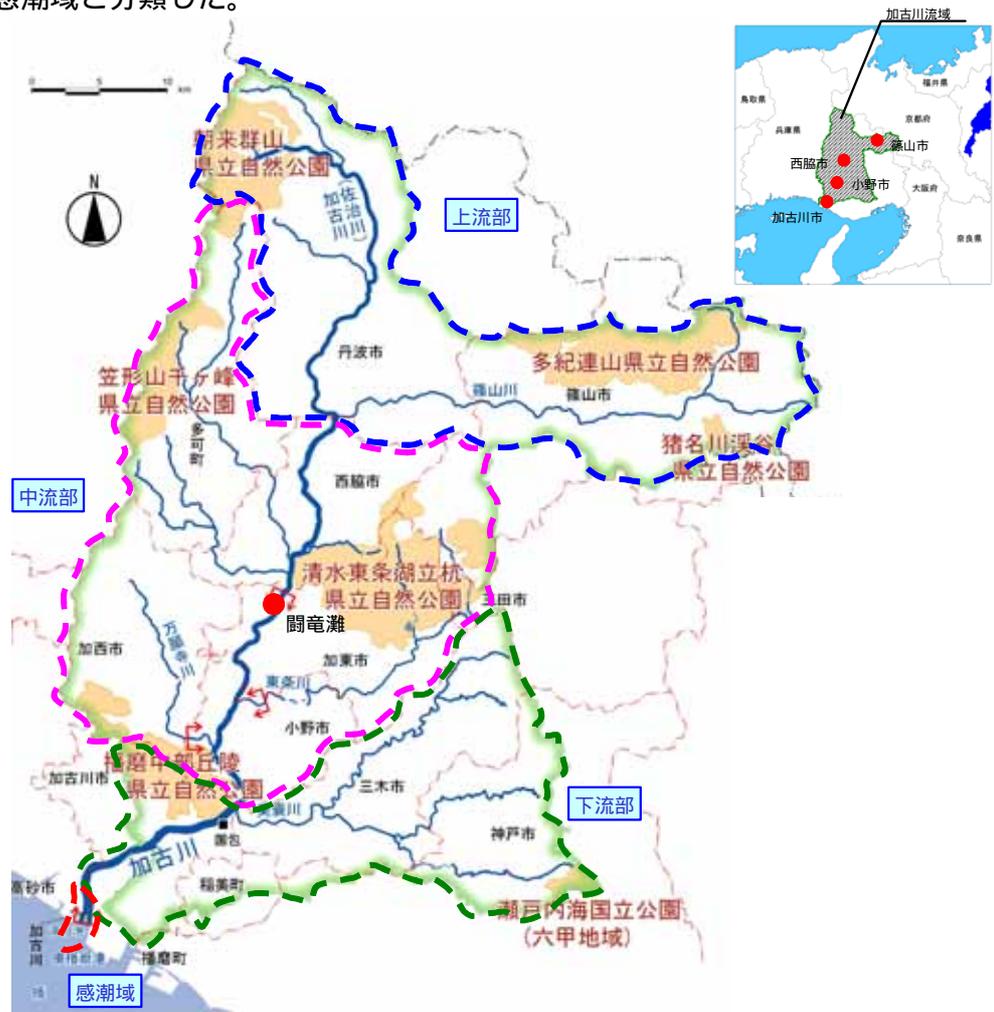


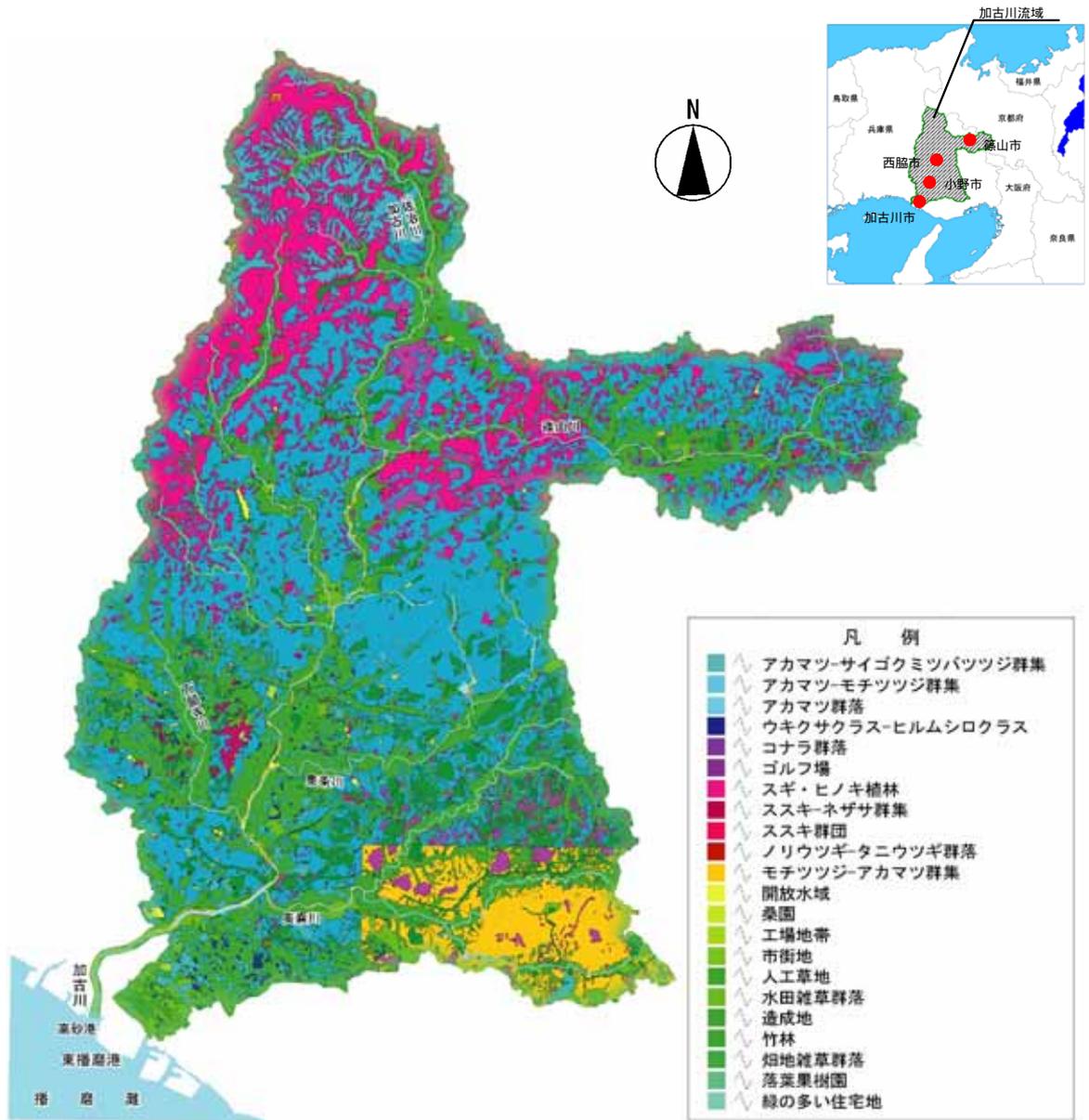
図 - 2.1.1 加古川流域環境区分図

表 - 2.1.1 河川の区分と自然環境

区分	感潮域	下流部	中流部	上流部
区間	河口～古新堰堤	古新堰堤～美の川合流点	美の川合流点～篠山川合流点	篠山川合流点～源流
地形	平地	平地	平地	平地・山地
特性	汽水域、干潟	湛水域、瀬・淵	瀬・淵	瀬・淵、渓流環境
河床材料	砂礫	砂礫	砂礫	砂礫・礫
勾配	約1/1,000～1/2,000	約1/1,000	約1/1,000	約1/40～1/600
植物相	ヨシ群落、カモノハシ群落、アイアシ群落、ハマヒルガオ、コウボウシバ 等	ヨシ群落、オギ群落、ヤナギ群落、タコノアシ、ミゾウジュ 等	ヨシ群落、ツルヨシ群落、サイカチ、ミクリ、ハンゲショウ、ゴキツル、フサナキリスゲ、サツキ、ユキヤナギ、ヤナギタデ - オオクサキビ群落 等	スギ・ヒノキ植林、アカマツ群落、水田雑草群落、バイカモ 等
動物相	トウネン、キアシシギ、チュウシャクシギ、メダイチドリ、シラウオ、ヒモハゼ、エドハゼ、クボハゼ、チクゼンハゼ、ウロハゼ、ハクセンシオマネキ、ヒロクチカノコガイ、ヨドシロヘリハンミョウ 等	オオヨシキリ、カンムリカイツブリ、カモ類、カワヒガイ、コウライモロコ、メダカ、ドジョウ、ヤリタナゴ、カネヒラ、ニゴイ、サツキマス、クロダカワニナ、トンガリササノハガイ、ジウサンホシテントウ 等	チュウサギ、カワセミ、アナグマ、オヤニラミ、アブラボテ、イチモンジタナゴ、スナヤツメ、ニゴイ、サツキマス、ホンサナエ、ヒメカマキリ 等	ハチクマ、アオジ、イソシギ、モリアオガエル、オオサンショウウオ、オヤニラミ、アブラハヤ、アカザ、ナガレホトケドジョウ、ニゴイ、サツキマス、アマゴ、ムカシトンボ、ヒメサナエ、アオハダトンボ 等

(2)流域の自然環境

加古川の植生は、主にアカマツ林によって覆われている。また、加古川中上流域（主に多可町、丹波市）ではスギ・ヒノキ等からなる常緑針葉樹植林が主体であり、その他の地域には水田が多く広がっている。特に、小野市、加西市、三木市周辺には、数多くのため池が点在し農業用水として利用されている。



出典：生物多様性情報システム / 環境省生物多様性センター

図 - 2.1.2 加古川流域植生図

2.2 河川及びその周辺の自然環境

2.2.1 河川の環境特性

(1) 上流部

源流部

加古川(佐治川)源流部は山地ではあるが起伏が小さく、中央分水嶺の最低標高は約95mと日本で最も低い。そのため源流部ではあっても丘陵地の様相を呈し、アカマツ群落、スギ・ヒノキ植林で占められる。

両生類では溪流に生息するオオサンショウウオが生息・繁殖している。

底生動物では川の上流域から中流域の水がきれいな溪流、沢、小川に生息するサワガニや、山間部の水のきれいな溪流域に生息するムカシトンボ、河川上流域や溪流に生息するヒメサナエ等が生息・繁殖している。

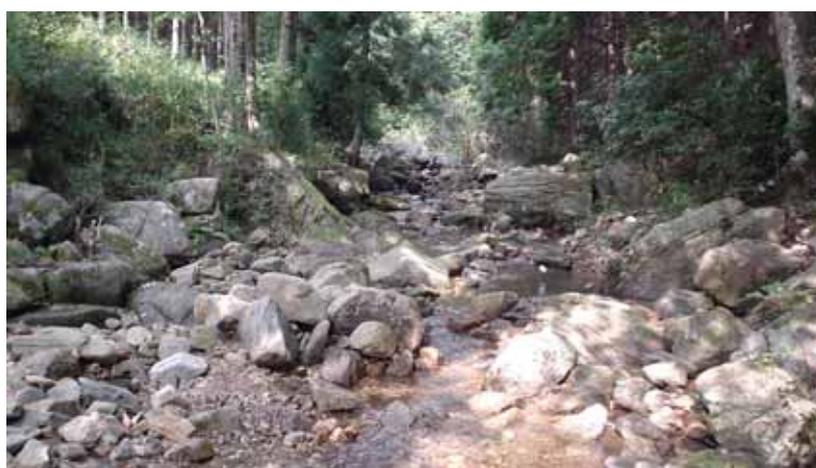
魚類では川面が薄暗い最源流域の細流や溪流域の礫底に生息するナガレホトケドジョウの生息・繁殖している。



サワガニ



ムカシトンボ



加古川(佐治川)の源流部

谷底平野

上流部としては比較的広い谷底平野が発達し、河川沿いには集落や水田雑草群落がみられる。河床材料は砂礫～礫が主体となり、水温の低い伏流水が湧き出す箇所が点在する。

伏流水の湧き出る清流の水底ではバイカモが生育し、周囲の水際にはアオハダトンボ、水田周辺にはミヤマアカネ等の昆虫類が生息・繁殖している。

鳥類では、繁殖期に丘陵地から山地にかけての森林に生息するハチクマ、川の上流から中流の岩石の多い沢や溪流に生息するカワガラス等が生息・繁殖している。

両生類では、溪流性のカジカガエル、森林性のモリアオガエル等が生息・繁殖している。

魚類では、川の中・上流の淵やよどみ、山地の湖沼、湧水のある細流等に生息するアブラハヤ、きれいな水と河床の礫にすき間のあるような川の平瀬に生息するアカザ、抽水植物の繁茂した緩流部にはオヤニラミ、早瀬や平瀬の石下にはカジカ（大型卵）が生息・繁殖している。



ハチクマ



アブラハヤ



上流部の谷底平野を流れる加古川（佐治川）

(2)上流部(支川篠山川)

源流部

篠山川源流部は加古川(佐治川)流域と同様に、山地ではあるが起伏が小さく、丘陵地の様子を呈し、植生はアカマツ群落、スギ・ヒノキ植林で占められる。

両生類では溪流に生息するオオサンショウウオが生息・繁殖している。

底生動物では、川の上流域から中流域の水がきれいな溪流、沢、小川に生息するサワガニや、山間部の水のきれいな溪流域に生息するムカシトンボ等が生息・繁殖している。

魚類では溪流域の淵やよどみに生息するタカハヤ、川面が薄暗い最源流域の細流や溪流域の礫底に生息するナガレホトケドジョウが生息・繁殖している。



ナガレホトケドジョウ



ムカシトンボ



ナガレホトケドジョウ等が生息・繁殖している上流部(源流部に続く上流部)

谷底平野

篠山市街地を中心とした谷底平野は、加古川（佐治川）流域よりもさらに広い谷底平野が発達している。周囲には篠山市の中心街、農耕地が広がり、河川沿いには水田雑草群落が見られる。河道内にはオギ群集、ツルヨシ群集等が分布するほか、マダケやハチクの竹林が連続する箇所もある。

植物では山地のやや湿った林縁、沢沿いの草地等に生育するナガミノツルキケマン、日当たりの良い草原に生育するキキョウ等が生育している。

鳥類では海岸、河川、湖沼、水田、干潟等に生息するイソシギ、越冬期に低山から平地の藪や草むらに生息するアオジ等が生息・繁殖している。

爬虫類では平地の河川、池沼、水田等に生息するイシガメ等が生息・繁殖している。

魚類では水の澄んだ流れの緩やかな浅い清流に生息するスナヤツメ、抽水植物の繁茂した緩流部にはオヤニラミ、石の下や水草の生育する流れの緩やかな深い淵等に生息するギギ、きれいな水と河床の礫にすき間のあるような川の平瀬に生息するアカザ、流れのやや緩くなった淵に生息するドンコ等が生息・繁殖している。

昆虫類では丘陵地の湧き水にがある緩やかな清流域に生息するグンバイトンボ、樹林間の草むら、ススキ等の草原、川原の草むら等に生息するスズムシ等が生息・繁殖している。



オヤニラミ



ナガミノツルキケマン



谷底平野を流れる篠山川（右岸には篠山市街地が広がる）

川代溪谷区間

加古川合流点から篠山市街地までの区間は、アラカシ、ケヤキ等からなる渓谷となり、露岩した河床が続く山地河川の様相を呈する。岩盤のわずかな土壌にマキエハギ等が生育している。

河床が岩盤であるため、魚類や底生動物の隠れる場所が少ないため、水生動物の種類も少ない。

魚類では河川の緩流域に生息するオイカワ、河川の流れのおだやかな淵やよどみ等の岩場に生息するムギツク、河川の砂泥底に生息するカマツカ等が生息・繁殖している。

底生動物では比較的水質の良い湧水や河川に生息するナミウズムシ、流れの緩い川や池の水草が多い場所に生息するミナミヌマエビ等が生息・繁殖している。



ムギツク



カマツカ



露岩した山地溪流区間（川代溪谷）

(3)中流部（美囊川合流点～篠山川合流点）

加古川中流部

加古川中流部には氾濫原が広がり、主に農耕地、市街地、商業地等が分布し、丘陵地や広々とした平地部を蛇行しながら流下している。中流部の大部分は護岸が整備されており、河道内には広い砂礫河原が分布する。また、滝野大橋より上流には、鬪竜灘を中心とした広い露岩地が見られ、景観上の特徴となっている。

河川敷にはオギ群集、ツルヨシ群集、セイタカアワダチソウ群落、クズ群落等の草地も広がっている他、ヤナギや竹林からなる河畔林も点在する。このほか、特定外来種であるアレチウリ群落やオオブタクサ群落も広い面積で見られる。

植物では湿地や水辺周辺に見られるミクリ、ハンゲショウ、ゴキツル等が生育し、山野や河原に生えるマメ科の落葉高木であるサイカチが樹林を形成している箇所もある。また、鬪竜灘等の岩盤、露岩地には、溪流沿いの岩地に生育するフサナキリスゲ、サツキ、ユキヤナギ等が生育している。

鳥類では、水田、湿地、浅い湖沼や河川等で採餌するチュウサギや、河川、池沼等で採餌するカワセミが生息・繁殖している。

哺乳類では広い河川敷で樹林の発達した箇所ではアナグマが生息・繁殖している。爬虫類では平地から低山地の森林、草原、水辺に生息し、特に林床を好むジムグリ、平地の河川、池沼、水田等に生息するイシガメ等が生息・繁殖している。両生類では平地から低山地、山地の溪流付近、広い河川の川原等の水辺環境に広範囲に分布するツチガエル等が生息・繁殖している。

底生動物では淀んだ小川やため池、水田、沼や池等のやや富栄養化の進んだ止水、半止水域に生息するモノアラガイ等が生息・繁殖している。

魚類では水の澄んだ流れの緩やかな浅い清流に生息するスナヤツメ、抽水植物の繁茂した岸近くの緩流部やわんど・よどみに生息するアブラボテやイチモンジタナゴ等が生息・繁殖している。

昆虫類では緩やかな流れの泥底に生息するホンサナエ、照葉樹林、雑木林等の林床に生息するヒメカマキリ等が生息・繁殖している。



樹林や草地、砂礫地等の様々な環境が見られる中流部



中流部岩河床区間（鬪竜灘）



ハンゲショウ



ミクリ



アブラボテ



アナグマ

杉原川

杉原川は河川区分では中流部に入るものの、加古川（佐治川）や支川篠山川上流部の様子を呈しており、川沿いには規模の大きなマダケ群落、スギ群落等の樹林地がみられ、一部に山付き区間も見られる。

高水敷には、クズ群落やカナムグラ群落等のツル植物群落が広範囲に広がり、低水敷にはツルヨシ群集やオギ群集がみられる。杉原川中流部の丘山橋付近では、ヤナギタデ - オ

オクサキビ群落内の浅い水域でミクリが生育している。

魚類ではきれいな水と河床の礫にすき間のあるような川の上流から中流の平瀬に生息するアカザ、河川上流域の瀬の砂礫底や礫底に生息するカジカ(大卵型)、抽水植物の繁茂した緩流部にはオヤニラミ等が生息・繁殖している。

底生動物では河川の上流域から中流域の水がきれいな溪流、沢、小川に生息するサワガニ、丘陵地から低山地にかけて礫質の河川に生息するコオニヤンマ等が生息・繁殖している。



カジカ (大型卵)



アカザ



杉原川 (アカザ、カジカ (大型卵)、オヤニラミの生息・繁殖地)

野間川

野間川は、加古川合流点付近は川岸に竹林が連続する閉鎖された河川空間を呈しており、河床は岩盤である。下流域では、堤防から水際にかけてマダケ群落やネザサ - ケネザサ群落が続いているが、低水敷はほとんど見られない。また、みぎわ橋より上流では、高水敷にセイタカアワダチソウ群落、低水敷にはツルヨシ群集、ヤナギタデ - オクサキビ群落が広がっているほか、自然裸地も多く見られ、浅い流路にはコカナダモ群落等の水草も見られる。

魚類では流れの緩やかな場所に生息するカワヒガイ、水田や用水路を主な生息・繁殖環境とするドジョウ、メダカ、きれいな水と河床の礫にすき間のあるような川の平瀬に生息するアカザ、河川上流域の瀬の砂礫底や礫底に生息するカジカ(大卵型)等が生息・繁殖している。

底生動物では河川下流域や平野部の用水路等の緩やかな流れの砂泥底で水質の良い場所

に生息するクロダカワニナやイナバママメタニシ、安定した水位を持つ細流や水路の抽水植物の生育する水際等に生息するナガオカモノアラガイ、淀んだ小川やため池、水田、沼や池等のやや富栄養化の進んだ止水、半止水域に生息するモノアラガイ、緩やかな流れの泥底に生息するホンサナエ、平地や丘陵地、低山地の清流に生息するアオサナエ、河川上流域や溪流に生息するヒメサナエ、池沼や湿地等の止水域を主な生息・繁殖環境とするコオイムシ、池や湖沼に生息するピワアシエダトビケラ等が生息・繁殖している。

東条川

東条川は大畑川合流より下流では比較的川幅が広く、低水敷が発達しており、マダケ群落やハチク群落等の竹林が分布する無堤区間が多く見られる。高水敷にはセイタカアワダチソウ群落やセイタカヨシ群落が分布し、低水敷にはツルヨシ群集やヤナギタデ・オオクサキビ群落が分布している。また、大畑川合流より上流側で両岸ともにコンクリート護岸となり、低水敷はほとんど見られなくなる。

魚類では、川の流れのゆるい砂底や砂礫底に生息するコウライモロコ、水田や用水路を主な生息・繁殖環境とするドジョウ、きれいな水と河床の礫にすき間のあるような川の平瀬に生息するアカザ等が生息・繁殖している。

万願寺川

万願寺川は両岸共に護岸が整備されており、護岸沿いにツルヨシ群集、セイタカヨシ群落、クズ群落等の低水敷が分布する。近年、大坪橋より下流ではアレチウリの繁茂が著しい。

魚類では平野部の小川や農業用水路等の流れの緩やかな所や、河川のわんど、池沼等の水生植物の繁茂した砂泥底の水域に生息するイチモンジタナゴ、河川よりも水路や水田等を主な生息域とするドジョウ等が生息・繁殖している。

底生動物では河川下流域や平野部の用水路等の緩やかな流れの砂泥底で水質の良い場所に生息するクロダカワニナやイナバママメタニシ、安定した水位を持つ細流や水路の抽水植物の生育する水際等に生息するナガオカモノアラガイ、淀んだ小川やため池、水田、沼や池等のやや富栄養化の進んだ止水、半止水域に生息するモノアラガイ、池沼や湿地等の止水域を主な生息・繁殖環境とするコオイムシ等が生息・繁殖している。

(4)下流部（古新堰堤～美囊川合流点）

加古川下流部

下流部には古新堰堤、加古川堰堤、加古川大堰による湛水区間が断続的に分布する。加古川堰堤、加古川大堰の下流側には広い砂州や低水敷が発達し、淵や「わんど」・「たまり」等も数多く見られる。これらの広い砂州や低水敷には、ヤナギタデ - オオクサキビ群落等の一年生草本群落が広く分布するが、自然裸地状態である箇所も多い。また、加古川大堰より上流部は広い湛水域となっており、自然植生はほとんど存在しないが、山陽自動車道下流付近にはジャヤナギ群落を中心とした河畔林が形成されている。河川敷には、泥湿地、水田、河原等の水位変動の激しい場所や攪乱を受ける水辺に生育するタコノアシやミゾコウジュ等の植物が生育している。

鳥類では流水域の水辺で採餌するササゴイ、ヨシ群落、オギ群落等で繁殖するオオヨシキリ等が生息・繁殖している。また、加古川大堰の湛水域は、冬鳥として海岸、湖沼、河川等に渡来するカンムリカイツブリやカモ類の集団越冬地として利用されている。

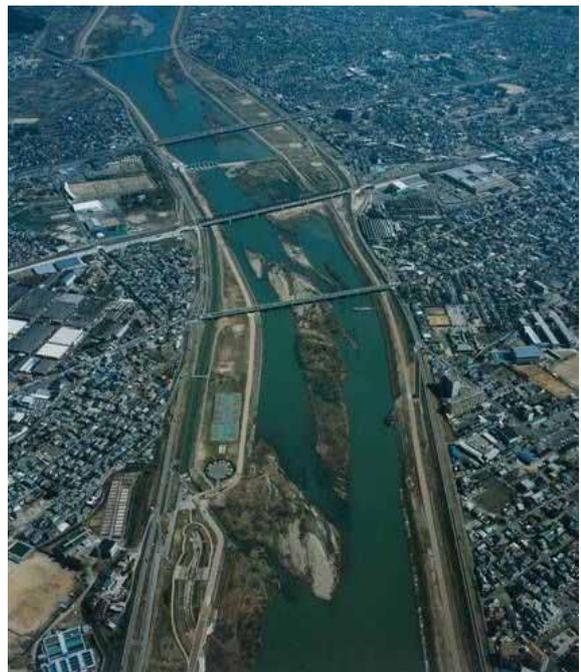
昆虫類ではヨシ群落にジュウサンホシテントウ等が見られる。

底生動物では河川下流域や平野部の用水路等の緩やかな流れの砂泥底で水質の良い場所に生息するクロダカワニナやトンガリササノハガイが生息・繁殖している。

魚類では河川の中・下流域の流れの緩やかな場所や、池沼、細流、農業用水路等の水生植物の繁茂する水域に生息するヤリタナゴ、カネヒラ等のタナゴ類やメダカ、河川の下流から汽水域の砂礫底に生息するカワアナゴ等が生息・繁殖している。かつて（1955年頃）は、美囊川合流部付近までサツキマスの天然遡上も確認されていたが、現在確認されているサツキマスは放流個体である可能性が高いといわれている。



加古川大堰湛水区間



加古川下流部



タコノアシ



ミゾコウジュ



抽水植物群落（ヨシ群落）



オオヨシキリ



カネヒラ



トンガリササノハガイ

美囊川

美囊川は、上流部まで比較的勾配が緩い区間が連続する河川である。美囊川の加古川本川合流部付近は広い河川敷が発達し、低水敷にはヨシ群落、オギ群落等が分布するが、上流の区間では川幅が狭くなり、オギ群落、ツルヨシ群落、マコモ・ウキヤガラ群落等の草本群落分布し、高水敷と低水敷の区分も不明瞭となる。

美囊川は、河川の蛇行や堰等の湛水域区間が多く見られ、このため冠水頻度が高い場所にはヤナギタデ・オオクサキビ群落、ツルヨシ群集、ウキヤガラ・マコモ群落をはじめとする過湿立地に成立する植生が広がっている。特に、岩宮井堰から三ヶ井井堰付近までの区間は、タコノアシの確認地点、個体数共に多い区間である。

魚類では、流れの緩やかな場所に生息するカワヒガイ、コウライモロコ等、河川よりも水路や水田等を主な生息域とするメダカ、ドジョウ等が生息・繁殖している。

昆虫類では池沼や湿地等の止水域を主な生息・繁殖環境とするコオイムシが生息・繁殖している。

(4)感潮域（河口～古新堰堤）

古新堰堤から河口部までの感潮区間であり、本区間では潮汐の影響を受け、干潮時には河口付近や相生橋付近に干潟が出現する。堤内は右岸側が高砂市、左岸側が加古川市で工業地、商業地、住宅地が広がる播磨臨海工業地域となっている。

感潮域には「わんど」や「たまり」、干潟等の多様な環境が存在し、塩沼植物群落が形成されている。また干潟周辺は魚類、底生動物の重要な生息・繁殖環境となっているほか、シギ・チドリ類をはじめとする鳥類の採餌環境や、感潮域に生息する昆虫類にとっても重要な生息・繁殖環境となっている。

河口部上流（古新堰堤下流）

感潮区間の上流部の山陽電鉄鉄橋付近から古新堰堤にかけての区間であり、河道内に広がる中洲にはヨシ群落、オギ群落のほか、ジャヤナギ等のヤナギ高木林も見られる。また山陽電鉄鉄橋上流の中洲には、ヨシ群落内にアイアシ等の塩沼植物群落が見られる。

植物では流れの緩やかな小川や水田の泥質の浅水域に生育するミズオオバコ、水田や溜池に生育するヒロハトリゲモ、泥湿地、水田、河原等の水位変動の激しい場所や攪乱を受ける水辺に生育するタコノアシ等が生育している。

鳥類では冬鳥として海岸、湖沼、河川等に渡来するカンムリカイツブリ、湖、広い河川、河口、海岸等水辺に生息するミサゴが見られる。また、古新堰堤から河口部まで点在する中洲や砂州に形成された広いヨシ群落では、オオヨシキリが繁殖している。

魚類では川の下流や感潮区間の石の下等に生息するミミズハゼが生息・繁殖しているほか、古新堰堤下流左岸の浅い流れの緩い瀬では、シロウオの産卵場が確認されている。



シロウオ



ミミズハゼ



古新堰堤

河口部中流（相生橋周辺）

感潮区間の中間部にあたり、相生橋上下流の左岸側みられるヨシ群落を中心とした大規模な中洲が存在する。この中洲には、ヨシ群落のほか、アイアシ群落を中心とした塩沼植物群落や、カモノハシ群落等の砂丘植物群落も分布している。この中洲には、入り組んだわんどやよどみが見られ、カワザンショウガイ、カワアイガイ、フトヘナタリガイ、ハクセンシオマネキ、アシハラガニ、ユビアカベンケイガニ、ハマガニ、ヤマトオサガニ等の汽水域の生物にとって多様で最も重要な生息・繁殖環境となっているほか、砂泥干潟に成立するヨシ群落の水際周辺にヨドシロヘリハンミョウ等の昆虫類が生息・繁殖している。

また、中洲の下流側に発達した比較的軟らかい砂泥干潟は、春季及び秋季の渡り期にメダイチドリ、トウネン、ハマシギ、オオソリハシシギ等のシギ・チドリ類の採餌環境として利用されているほか、ヒモハゼ、エドハゼ、チクゼンハゼ等の魚類の生息・繁殖環境となっている。



ハクセンシオマネキ



ヨドシロヘリハンミョウ



中洲に広がる広大で入り組んだヨシ群落

河口部下流（最下流）

感潮区間の最下流部にある砂州であり、右岸にはヨシ群落、アイアシ群落等の塩沼植物群落広がっているが、左岸は小規模な砂質干潟のみである。また右岸砂州の下流側には、ハマヒルガオ、コウボウシバ等の砂丘植物群落も見られるほか、わんども存在し、アキグミ、センダン等の樹木も見られる。

右岸中洲の下流側の干潟には、春季及び秋季の渡り期にトウネン、キアシシギ、チュウシャクシギ等のシギ類が多数渡来し、採餌場として利用しているほか、ヒロクチカノコガイ、カワアイガイ、ハクセンシオマネキ等の底生動物や、エドハゼ、ウロハゼ、ヒメハゼ等の魚類が生息・繁殖している。また左岸の砂質干潟は、川の下流域や汽水湖、沿岸域等の汽水域の砂底で産卵するシラウオが産卵環境として利用している。



アイアシ



シラウオ



河口部

2.2.2 加古川における重要な種

河川水辺の国勢調査等の結果をもとに、学術上又は希少性等の観点から「重要種」を抽出した。選定にあたっては、「文化財保護法」、「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」等の法律で定められた種、及び「環境省 絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」や地方版のレッドデータブック（近畿地区、兵庫県）等の掲載種とした。

表 - 2.2.1(1) 加古川水系重要種

生息する貴重種	和名	指定区分					確認状況		
		天然記念物	種の保存法	環境省 RDL	兵庫県 RDB	近畿 RDB	国土交通省	兵庫県	
魚介類	スナヤツメ			VU	A			H17,H18	
	ウナギ			DD			H9,H9-10,H14	H9	
	ヤリタナゴ			NT	B		H4,H9-10,H14	H4,H6,H9,H17	
	アブラボテ			NT	C		H4,H9-10,H14	H4,H9,H17	
	カネヒラ				B		H4,H9-10,H14	H17	
	イチモンジタナゴ			CR	B		H2,H4	H4,H17	
	ワタカ			EN				H17	
	アブラハヤ				B		H4,H9-10,H14	H4,H9,H17	
	カワヒガイ			NT	C		H4,H9-10,H14	H9,H17	
	コウライモロコ				C		H4,H9-10,H14	H4,H17	
	ドジョウ				B		H9-10,H14	H9,H1,7H18	
	スジマドジョウ中型種			VU			H9-10,H14	H9,H17	
	ナガレホトケドジョウ			EN	B			H17	
	アカザ			VU	B		H4,H9-10,H14	H4,H9,H17	
	シラウオ				A		H9,H14		
	サツキマス			NT	A		H14		
	アマゴ			NT	B		H4	H4,H9,H17	
	メダカ			VU	注		H4,H9,H9-10,H14	H4,H,7H9,H17,H18	
	カジカ			NT	B			H9,H17	
	オヤニラミ			VU	B			H17	
	トサカギンボ				A		H9-10		
	イダテンギンボ				A		H9-10		
	カワアナゴ				A		H9-10,H14	H17	
	トビハゼ			NT	A		H14		
	シロウオ			VU	A		H4,H14		
	ミズハゼ				調		H9,H9-10,H14		
	ヒモハゼ			NT			H9-10,H14		
	ウキゴリ				調		H9-10,H14		
	クボハゼ			EN	A		H14		
	エドハゼ			VU	A		H9-10,H14		
	チクゼンハゼ			VU	A		H9-10,H14		
	マサゴハゼ			VU	A		H9,H14		
	オオヨシノボリ				B		H14		
	チチブ				調		H9,H9-10,H14		
	底生動物	マルタニシ			NT			H9	H17
		オオタニシ			NT			S50~57,H4,H9	H4,H9,H17
		クロダカワニシ			NT			S50~57,H4,H14	H4,H9,H17
		フトヘナタリガイ			NT	C		H9,H9-10,H14	
		カワアイガイ			VU	A		H9,H14	
		マルウスラタマキビガイ				注		H14	
ムシヤドリカワザンショウガイ				NT	C		H9		
ヨシダカワザンショウガイ				VU	A		H9		
カワザンショウガイ					C		H4,H9,H14		
イナバマメタニシ				VU				H17	
カワグチツボ				NT	A		H14		
エドガワミズゴマツボ				NT			H9,H14		
アラムシロガイ					C		H14		
キセウタガイ					B		S50~57		
モノアラガイ				NT			S50~57,H4,H9,H9-10,H14	H4,H7,H9,H17	
ヒラマキミズマイマイ				DD				H9	
ヒラマキガイモドキ				NT			H14	H9,H17	
ナガオカモノアラガイ				NT				H17	
トンガリササノハガイ				NT	A		S50~57,H4,H14	H17	
カタハガイ				VU	A		S50~57	H17	
マテガイ					C		H14		
ウネナシトマヤガイ				NT	C		H14		
ヤマトシジミ				NT	B		S50~57,H4,H9,H9-10,H14		

表 - 2.2.1(2) 加古川水系重要種

生息する貴重種	和名	指定区分					確認状況	
		天然記念物	種の保存法	環境省 RDL	兵庫県 RDB	近畿 RDB	国土交通省	兵庫県
底生動物	マシジミ			NT			S50-57,H4,H9,H9-10,H14	H4,H7,H9
	オキシジミ				注		H14	
	ハマグリ				A		H9	
	コケゴカイ				C		H9,H14	
	カワゴカイ属				C		S50-57,H4,H9,H14	H17
	ミドリビル			DD			H9	H4
	アンナンデールヨコエビ			NT			S50-57,H4,H9	
	ユビナガスジエビ				C			H17
	シラタエビ				B		H9,H9-10,H14	
	エビジャコ				C		H9-10	
	ミゾレヌマエビ				B		H9,H9-10,H14	
	アナジャコ				C		H14	
	クロベンケイガニ				C		H4,H9-10	H17
	アカテガニ				C		S50-57	
	ヒメアシハラガニ				B		H9	
	アシハラガニ				C		H9,H9-10,H14	
	ユビアカベンケイガニ				C		H9,H14	
	フタバカクガニ				C		H9	
	チコガニ				C		H9H14	
	ヤマトオサガニ				B		H9,H9-10,H14	
	コメツキガニ				C		H9,H14	
	ハクセンシオマネキ			VU	A		H14	
	トゲエラカゲロウ属				調			H17
	ムスジイトンボ				注			H17
	グンバイトンボ			NT	B			H9
	ムカシトンボ				注			H17
	ミヤマサナエ				C			H9
	キイロサナエ				C			H9,H17
	ホンサナエ				B			H4,H9,H17
	アオサナエ				C			H4,H9,H17
	ヒメサナエ				B			H9,H17
	フタスジサナエ			NT				H17
	オグマサナエ			VU			S50-57	
	キイロヤマトンボ			NT	A			H9
	ミヤマアカネ				C			H17
	コオイムシ			NT	注		H9	H9,H17
	ピウアシエダトビケラ			VU				H9,H17
	ゴマダラチビゲンゴロウ				調			H9
	ヨコミソドロムシ			VU	調			H9
	ホソヨコミソドロムシ				調		H14	
	カンテンコケムシ				B			H17
	ヒロクチカノコガイ			VU	VU		H18	
	ミナミヌマエビ				地		H18	
	ハマガニ				VU		H18	
	両生類・爬虫類・哺乳類	オオサンショウウオ	特天					第2回自然環境保全基礎調査(環境省)
イモリ				NT	注		H4,H9	
ニホンヒキガエル					C		H4	H7,H12
タゴガエル					C		H4	
ツチガエル					C		H9	H7,H17
シュレーゲルアオガエル					C		H4,H9	
モリアオガエル					B		H9	
カジカガエル					C		H9	
イシガメ				DD			H4,H9	H7,H12,H17
スッポン				DD	調		H9	H12
ヤモリ					注			H12,H17
ジムグリ					注		H4	H12
ヒバカリ					注		H4,H9	H17
ジネズミ				注			H12,H17	
アナグマ				NT		H18		
鳥類	カンムリカイツブリ					繁殖3	H5,H10,H16	
	ヨシゴイ			NT	A	繁殖2		H9
	ササゴイ				C	繁殖3	H5,H10	H9
	チュウサギ			NT	C	繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9
	オシドリ			DD	C	繁殖3	H5	
	マガモ					繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9
	トモエガモ					繁殖3	H5	
	ヨシガモ					繁殖3	H5,H16	H4,H9
	ホオジロガモ					越冬3	H16	
	ミコアイサ					越冬3	H5,H10,H16	
ウミアイサ					越冬3	H5,H10,H16		

表 - 2.2.1(3) 加古川水系重要種

生息する貴重種	和名	指定区分					確認状況		
		天然記念物	種の保存法	環境省 RDL	兵庫県 RDB	近畿 RDB	国土交通省	兵庫県	
鳥類	カワアイサ					越冬3	H10,H16		
	ミサゴ			NT	A	繁殖2	H5,H10,H16	H9	
	ハチクマ			NT	A	繁殖2	H10	H9	
	オオタカ			NT	B	繁殖3	H10	H9	
	ハイタカ			NT	B	要注目	H5	H4	
	ノスリ				C	越冬3	H10,H16	H9	
	ハヤブサ			VU	B	繁殖3	H5,H10,H16		
	コチョウゲンボウ					越冬2	H10		
	チョウゲンボウ					越冬3	H10,H16		
	ヒクイナ			VU	B	繁殖2	H5		
	コチドリ				注	繁殖3	H5,H10,H16		
	イカルチドリ					繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9	
	シロチドリ				注	繁殖3	H5,H16		
	メダイチドリ					通過3	H5		
	ムナグロ					通過3	H5		
	ダイゼン					通過2	H5,H16		
	タグリ					越冬3	H5,H10,H16	H4	
	キョウジョシギ					通過3	H5		
	トウネン					通過3	H5		
	ハマシギ					越冬3	H5		
	ミコビシギ				B	通過2	H5		
	アオアシシギ					通過3	H10		
	クサシギ					越冬2	H5,H10,H16	H4	
	タカブシギ					通過3	H16		
	キアシシギ					通過3	H5,H10,H16		
	イソシギ				C	繁殖2	H5,H10,H16	H4,H9	
	ソリハシシギ				B	通過3	H5,H10,H16		
	オグロシギ				B	通過2	H16		
	チュウシャクシギ					通過3	H5,H10,H16		
	タシギ				B	越冬3	H5,H10		
	ウミネコ					要注目	H5,H10,H16		
	ズグロカモメ			VU		越冬2	H16		
	コアジサシ			VU	C	繁殖2	H5,H16		
	ホトギス					繁殖3	H5,H16		
	ヤマセミ				B	繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9	
	カワセミ				B	繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9	
	アリスイ					越冬3	H5,H16		
	ピンズイ					要注目	H10,H16	H4	
	カワガラス					繁殖3		H4,H9	
	ルリビタキ				C	繁殖3		H9	
	ノビタキ				C	繁殖3	H16	H4	
	オオヨシキリ				B	繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9	
	メボソムシクイ					繁殖3		H9	
	ノジコ				C	繁殖3	H16		
	アオジ				C	繁殖3	H5,H10,H16	H4,H9	
	コムクドリ					通過3	H16	H9	
	昆虫類	オオイトトンボ				C			H8
		ゲンバイトンボ			VU	B			H4,H9,H8
		アオハダトンボ				A			H4,H9
		カトリヤンマ				調		H4,H7,H13	H4,H9
サラサヤンマ					B			H4,H9	
ミヤマサナエ					C			H4	
ホンサナエ					B			H9	
ナニワトンボ				VU	C		H4		
ミヤマアカネ					C			H4,H9	
ヒメカマキリ					注			H4	
クツムシ					C		H13	H4	
ヒゲシロスズ					調		H13		
スズムシ					注		H4,H7,H13	H4,H9	
ヒメコオロギ					調		H13		
ハマスズ					B			H8	
シロヘリツチカメムシ				NT			H7		
オオミノガ					注		H13		
スジグロチャバネセセリ				NT	C		H7		
ゴイシジミ					地(淡路以外注)			H4	
シルビアシジミ				CR+EN	B		H18		
ウラギンスジヒョウモン					C			H9	
ヒゲコガネ					B		H4,H7,H13		
ジュウクホシテントウ					C		H7		
ジュウサンホシテントウ					C		H4,H7,H13	H4	

表 - 2.2.1(4) 加古川水系重要種

生息する貴重種	和名	指定区分					確認状況	
		天然記念物	種の保存法	環境省 RDL	兵庫県 RDB	近畿 RDB	国土交通省	兵庫県
昆虫類	マメハンミョウ				注		H4,H7	
	クワカミキリ				調			H4
	ヨドシロヘリハンミョウ			VU			H18	
植物	ミズウラボ				C	NT		H9,H17
	オオアカウキクサ			VU	A	NT		H17
	サデクサ					C	H7,H12,H15	H17
	ホソバノハマアカザ				C		H7,H12,H15	
	ヤナギイノコスチ				B		H7	H9,H17
	バイカモ				B	A		H4,H9,H17
	ハンゲショウ				C		H7,H12,H15	
	コイヌガラシ			NT		C	H7,H12,H15	
	タコノアシ			NT	B	C	H7,H12,H15	H17
	カワラサイコ				C	A	H7,H12,	
	ユキヤナギ					NT	H7,H12,H15	H17
	サイカチ					NT	H7,H12,H15	
	イヌハギ			NT	C	A	H7,H12,H15	
	マキエハギ				C	C	H12	H9,H17
	ナガミナツルキケマン					C		H9,H17
	ゴキツル				C		H7,H12,H15	H4,H17
	ヒメミツハギ					C		H17
	ミズマツバ			VU		C	H15	
	ハマボウフウ					C	H7,H12,H15	
	サツキ				A		H7,H12,H15	
	ガガブタ			NT		A	H7	
	ケテイカカズラ				C	NT	H7,H12,H15	
	コムラサキ					C	H7,H12,H15	
	ミゾコウジュ			NT	C	C	H7,H12,H15	
	ヒヨクソウ				C			H9
	イヌノフグリ			VU	C	NT	H15	
	カワヂシャ			NT	C	NT	H12,H15	H9,H17
	オギノツメ				B		H7H15	
	キキョウ			VU		C		H4
	ヒメヨモギ				B	C	H7,H12,H15	
	ホソバコンギク				地		H12,H15	
	ウラギク			VU	C	NT	H7,H12,	
	タウコギ				C			H9
	フジバカマ			NT	B	A	H7,H12,H15	
	ミスオオバコ			VU	C			H17
	カワツルモ			NT	A	A	H12,H15	
	ハナゼキショウ				C	NT	H15	
	ヒナザサ				C	B		H17
	ミノボロ					C	H12,H15	
	アイアシ				C	C	H7,H12,H15	
	ナガミノオニシバ				C		H7,H12,H15	
	ミクリ			NT	B	A	H7,H12,H15	H9,H17
	コガマ				B	C		H17
	ウマスゲ				A	B	H12,H15	
	フサスゲ				B	C	H7,H12,H15	
	シオクグ					C	H7,H12,H15	
	フサナキリスゲ					NT	H7,H12,H15	
	イソヤマテンツキ				C		H7,H12,H15	
	ナガボテンツキ				A	A	H7	
	マツカサススキ				C	C	H7	H9
	フトイ				C		H7,H12,H15	
シラン			NT	調	C	H12,H15		
エビネ			NT	C			H17	
ヒロハトリゲモ(サガミドリゲモ)			VU	NT	A	H18		

表 - 2.2.1(5) 加古川水系重要種の凡例一覧

<p>「文化財保護法」(昭和25年法律第214号) 特天:特別天然記念物 天:天然記念物</p>
<p>「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号) 国内:国内希少野生動植物種 国際:国際希少野生動植物 緊急:緊急指定種</p>
<p>「環境省RL2006」および「環境省RL2007」に記載されている種及び亜種を示す。 【鳥類、爬虫類、両生類、その他無脊椎動物】 環境省RL2006 :報道発表資料「鳥類、爬虫類、両生類及びその他の無脊椎動物のレッドリスト見直しについて(環境省,2006年12月)」 【哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物】 環境省RL2007 :報道発表資料「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて(環境省,2007年8月)」 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群</p>
<p>「改訂・兵庫の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - 」(兵庫県,2003年3月) Ex:今見られない A:Aランク(兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種など、緊急の保全対策、厳重な保全対策の必要な種) B:Bランク(兵庫県内において絶滅の危険が増大している種など、極力生息環境、自生地などの保全が必要な種) C:Cランク(兵庫県内において存続基盤が脆弱な種) 注:要注目種(最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種) 地:地域限定貴重種(兵庫県全域で見ると貴重とはいえないが、兵庫県内の特定の地域においてはA、B、C、要注目のいずれかのランクに該当する程度の貴重性を有する種) 調:要調査種(本県での生息・生育の実態がほとんどわからないことなどにより、現在の知見では貴重性の評価ができないが、今後の調査によっては貴重種となる可能性のある種)</p> <p>(以下、植物のみ該当)</p>
<p>改訂・近畿地方の保護上重要な植物 - レッドデータブック近畿2001 - (レッドデータブック近畿研究会編著,2001) 区分(カテゴリー) 絶滅:絶滅種 (近畿地方では絶滅したと考えられる種類) A:絶滅危惧種A (近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種類) B:絶滅危惧種B (近い将来における絶滅の危険性が高い種類) C:絶滅危惧種C (絶滅の危険性が高くなりつつある種類) 準:準絶滅危惧種 (生育条件の変化によっては、「絶滅危惧種」に移行する要素を 情報不足:情報不足 (「環境庁2000年版」に近畿での分布情報があるが、標本資料が確認できず、「情報不足」として扱った種類)</p> <p>(以下、鳥類のみ該当)</p>
<p>「近畿地区・鳥類レッドデータブック-絶滅危惧種判定システムの開発(京都大学学術出版会、山岸哲監修、江崎保男・和田岳編著,2002年)」に記載されている種を示す。 ランク1:危機的絶滅危惧。絶滅する可能性がきわめて大きい。 ランク2:絶滅危惧。絶滅する可能性が大きい。 ランク3:準絶滅危惧。絶滅する可能性がある。 ランク4:特に危険なし</p>

2.3 特徴的な河川景観や文化財

(1) 特徴的な河川景観とその利用

加古川中流部には流路内に岩盤、露岩が見られ、景観上の特徴にもなっており、これらの岩盤・露岩には特徴的な植物の生育が見られる。また、加古川国管理区間上流端において、「鬪竜灘」とよばれる露岩を呈する特異な河川景観が存在し、兵庫県レッドデータブック地形、地質でBランクに指定されている。また、流域内には唐滝、竜ヶ滝、二重ヶ滝、つくばねの滝、黒滝等をはじめとする滝が多数存在する。

感潮域には「わんど」や「たまり」、干潟やヨシ原等の多様な環境が存在し、塩沼植物群落が形成されている。また干潟周辺は魚類、底生動物の重要な生息・繁殖環境となっているほか、鳥類の採餌環境や、昆虫類にとっても重要な生息・繁殖環境となっている。

加古川は5月1日、全国で最も早く鮎漁が解禁となり、鬪竜灘では「^{かけひ}笥どり」という独特の漁法が江戸時代より行われている。また、加古川は古くから舟運に利用され船着き場跡等の史跡が残されている。



図 - 2.3.1 加古川流域の特徴的な河川風景

表 - 2.3.1(1) 加古川流域の文化財（国指定のみ）

種別	指定年月日	名称	所有者（管理者）	所在地	時代または年代
史	S48.6.18	西条古墳群（行者塚・人塚・尼塚）	財務省，加古川	加古川市山手2-958他	
史	S42.6.22	大中遺跡	兵庫県，播磨町	加古郡播磨町大中大増396-2他	
史	S55.12.5	広渡麩寺跡	小野市	小野市広渡町字竹ノ本他	
史	S18.9.8	玉丘古墳群	加西市	加西市加西市玉丘町字水塚91他	
史	H6.3.23	追手神社のモミ	追手神社	篠山市大山字久保谷壺302	
史	S31.12.28	篠山城跡	篠山市	篠山市北新町1-1他	
史	T14.10.8	日置のハダカガヤ	八幡神社	篠山市日置167	
史	H17.3.2	八上城跡	林野庁ほか	篠山市八上上字高城山他	
史	S46.1.6	柏原藩陣屋跡	柏原町	水上郡柏原町柏原683、688	
建	T3.4.17	八幡神社三重塔	八幡神社	神戸市北区山田町中字宮ノ片57	室町 文正元
建	T3.4.17	若王子神社本殿	若王子神社	神戸市北区山田町福地字新地101	室町 応永15
建	S42.6.15	箱木家住宅主屋	個人	神戸市北区山田町衝原字道南	室町 後期
建	S42.6.15	箱木家住宅座敷			江戸 中期
建	T4.3.26	石峯寺薬師堂	石峯寺	神戸市北区淡河町神影110-1	室町 明応頃
建	T4.3.26	石峯寺三重塔			室町 中期
建	S54.5.21	豊歳神社本殿	豊歳神社	神戸市北区大沢町市原字月方631	室町 永正8
彫	T3.8.25	木造大日如来坐像	無動寺	神戸市北区山田町福地字新池100	平安
彫	T3.8.25	木造釈迦如来坐像			平安
彫	T3.8.25	木造阿弥陀如来坐像			室町
彫	T3.8.25	木造不動明王坐像			平安
彫	T3.8.25	木造十一面観音立像			平安
建	T2.4.14	住吉神社本殿	住吉神社	三田市大川瀬字曾根山1644	室町 永享8
建	M34.3.27	鶴林寺本堂	鶴林寺	加古川市加古川町北在家424	室町 応永4
建	M34.3.27	鶴林寺太子堂			平安 天永3
建	M40.5.27	鶴林寺鐘楼			室町 応永14
建	M40.5.27	鶴林寺護摩堂			室町 永禄6
建	M40.5.27	鶴林寺常行堂			平安 後期
建	S5.5.23	鶴林寺行者堂			室町 応永13
絵	M34.8.2	絹本着色聖徳太子絵伝			南北朝
絵	M34.8.2	絹本着色聖徳太子像			鎌倉
絵	M34.8.2	絹本着色弥陀三尊像			高麗
絵	M34.8.2	絹本着色慈恵大師像			鎌倉
絵	S52.6.11	板絵著色聖徳太子像（太子堂壁画）			平安 天永3
彫	M34.8.2	木造釈迦三尊像（中尊）			鎌倉
彫	M34.8.2	木造釈迦三尊像（両脇侍）			平安
彫	M34.8.2	銅造聖観音立像			飛鳥
彫	T3.8.25	木造十一面観音立像			平安
彫	T3.8.25	木造天蓋			鎌倉
彫	H10.6.30	木造薬師如来及両脇侍像			平安
彫	H10.6.30	木造二天王立像（本堂安置）			平安
工	M34.8.2	木造鶴林寺扁額（伝鳥羽天皇宸翰）			室町
工	M34.8.2	銅鐘			高麗
工	T3.8.25	木造キウ漆厨子	鎌倉		
工	M47.5.30	夕太鼓縁	室町		

表 - 2.3.1(2) 加古川流域の文化財（国指定のみ）

種別	指定年月日	名称	所有者（管理者）	所在地	時代または年代	
彫	T7.4.8	木造地藏菩薩半跏像	長楽寺	加古川市志方町水室853-1	南北朝	
工	M34.8.2	銅鐘	尾上神社	加古川市尾上町長田518	高麗	
絵	M34.8.2	絹本着色五仏尊像	十輪寺	高砂市高砂町横町1074	元	
建	S50.6.23	伽耶院本堂	伽耶院	三木市志染町大谷410	江戸 正保3	
建	S50.6.23	伽耶院多宝塔			江戸 正保5	
建	S50.6.23	三坂明神社本殿			江戸 正保頃	
彫	T3.8.25	木造毘沙門天立像			平安	
建	M34.3.27	浄土寺薬師堂	浄土寺	小野市浄谷町1951	室町 永正14	
建	M34.3.27	浄土寺浄土堂（阿弥陀堂）			鎌倉 建久3	
彫	M34.3.27	行道面			鎌倉	
建	T2.4.14	八幡神社本殿			室町 中期	
絵	M34.8.2	絹本着色真言八祖像			鎌倉	
絵	T6.4.5	絹本着色仏涅槃図			鎌倉	
彫	M34.8.2	木造阿弥陀如来及両脇侍立像（浄土堂安置）			鎌倉	
工	T11.4.13	銅製五輪塔			鎌倉	
工	S15.10.1	鉦鼓 東大寺末寺播磨浄土堂 建久元年十月十二日ノ銘アリ			鎌倉 建久元	
工	H6.6.28	黒漆蝶形三足卓（浄土堂本尊用）				
工	H6.6.28	黒漆蝶形三足卓（来迎会本尊用）				
彫	T9.4.15	木造阿弥陀如来立像				鎌倉
彫	M34.8.2	木造重源坐像			（奈良国立博物館）	鎌倉 文暦1
彫	S46.6.22	木造菩薩面				鎌倉
建	M34.3.27	一乗寺三重塔	一乗寺	加西市坂本町821-17	平安 承安元	
建	T2.4.14	一乗寺妙見堂			室町 後期	
建	T2.4.14	一乗寺弁天堂			室町 中期	
建	T2.4.14	一乗寺護法堂			鎌倉 後期	
建	S28.8.29	一乗寺五輪塔			鎌倉 元亨元	
建	S58.12.2	一乗寺本堂			江戸 寛永5	
絵	M34.8.2	絹本着色聖徳太子及天台高僧像			平安	
絵	M41.4.23	絹本着色阿弥陀如来像			鎌倉	
絵	M41.4.23	絹本着色五明王像			鎌倉	
彫	M34.8.2	銅造聖観音立像			飛鳥	
彫	S15.10.1	木造法道仙人立像（開山堂安置）			鎌倉 弘安9	
彫	S15.10.1	木造僧形坐像			鎌倉 建久3	
彫	S60.6.6	銅造観音菩薩立像			飛鳥	
建	S50.6.23	酒見寺多宝塔			酒見寺	加西市北条町北条1319
建	S27.7.19	東光寺本堂	東光寺	三木市吉川町福吉261	室町 永正14以前	
建	T15.4.19	天津神社本殿	天津神社	三木市吉川町前田字下馬場998	室町 延徳4	
建	S42.6.15	歡喜院聖天堂	歡喜院	三木市吉川町毘沙門547	室町 応永18	
建	S54.5.21	稲荷神社本殿	稲荷神社	三木市吉川町富岡ヒモノカチ1077-1	室町 天文15	
建	T12.3.28	朝光寺本堂	朝光寺	加東市社町畑609	室町 応永20	
建	S29.9.17	朝光寺鐘楼			鎌倉 後期	
建	S35.6.9	住吉神社本殿	住吉神社	加東市社町上鴨川571	室町 明応2	
建	S37.6.21	若宮八幡宮本殿	若宮八幡宮	加東市東条町黒谷275	室町 永禄7	

表 - 2.3.1(3) 加古川流域の文化財（国指定のみ）

種別	指定年月日	名称	所有者（管理者）	所在地	時代または年代
工	S56.6.9	太刀	清水寺	加東市社町平木1194	平安
書	H7.6.15	大字法華経巻第五			奈良
彫	S56.6.9	銅造如来坐像	遍照院	加東市滝野町光明寺433	平安
絵	S61.6.6	絹本着色六道絵	極楽寺	多可町八千代区中野間210	鎌倉
建	S54.5.21	長谷寺妙見堂長	谷寺	篠山市藤坂803	室町 中期
建	S36.12.2	大国寺本堂			室町 中期
彫	T11.4.13	木造大日如来坐像	大国寺	篠山市味間奥162	平安
彫	T11.4.13	木造阿弥陀如来坐像			平安
彫	T11.4.13	木造持国天立像			平安
彫	T11.4.13	木造増長天立像			平安
建	H15.5.30	春日神社能舞台	春日神社	篠山市黒岡	江戸
建	T2.4.14	八幡神社本殿及び拝殿	八幡神社	丹波市柏原町柏原字八幡山4001-1	桃山 天正13
建	S49.2.5	旧友井家住宅（兵庫県水上郡山南町）	山南町	丹波市山南町岩屋297	江戸 元禄頃
彫	M44.4.17	木造薬師如来坐像	西光寺（篠山市）	篠山市畑市343	平安
彫	M44.4.17	木造持国天立像			平安
彫	M44.4.17	木造増長天立像			平安
彫	M44.4.17	木造多聞天立像			平安
彫	M44.4.17	木造持国天立像	八幡神社	篠山市日置167	平安
彫	M44.4.17	木造多聞天立像			平安
彫	M44.4.17	木造櫛岩窓命坐像	櫛石窓神社	篠山市福井1170	平安
彫	M44.4.17	木造豊岩窓命坐像			平安
彫	M44.4.17	木造大宮比売命坐像			平安
彫	M44.8.9	木造伊邪那岐命坐像	二村神社	篠山市見内1-3	平安
工	S25.8.29	太刀 銘信房作	個人	篠山市宇土	
書	M44.4.17	紫紙金泥法華経	乗宝寺	丹波市柏原町柏原3627	平安
書	M44.4.17	紺紙金泥 大威徳陀羅尼経 巻第16			平安 仁平4
彫	M44.4.17	木造阿弥陀如来坐像	達身寺	丹波市水上町清住259	平安
彫	M44.4.17	木造十一面観音坐像			平安
彫	M44.4.17	木造薬師如来坐像			鎌倉 建久3
彫	M44.4.17	木造薬師如来坐像			平安
彫	M44.4.17	木造阿弥陀如来坐像			平安
彫	M44.4.17	木造聖観音立像			平安
彫	M44.4.17	木造吉祥天立像			平安
彫	M44.4.17	木造十一面観音立像			平安
彫	M44.4.17	木造地藏菩薩坐像			平安
彫	M44.4.17	木造兜跋毘沙門天立像			平安
絵	M44.4.17	絹本着色普応国師像	高源寺	丹波市青垣町檜倉514	元
工	S28.3.31	太刀 銘了戒	勸学院	丹波市青垣町大名草字綿の谷6-3	
彫	S31.6.28	木造金剛力士立像 定慶作	石籠寺	丹波市山南町岩屋2	鎌倉 仁治3
彫	T7.4.8	木造薬師如来坐像	薬師堂	丹波市山南町岡本	平安
彫	M44.4.17	銅造十一面千手観音立像	常勝寺	丹波市山南町谷川2630	鎌倉
彫	M44.4.17	木造薬師如来坐像（中堂安置）			鎌倉

出典：兵庫県教育委員会 HP

(3) 観光・景勝地

加古川流域は、豊かな自然環境を有し、水のある景勝地や観光地が数多く存在している。篠山市街地は古くから城下町として栄え、篠山城では昭和 19 年に消失した大書院が平成 12 年に再建された。

東条湖は県立自然公園に指定されており、四季折々の自然美が堪能できる。また、釣りのスポットとして人気を集めており、周辺の遊園地やゴルフ場と一体となって関西のレジャー基地となっている。このほか、^{みわか}水分れ公園や日本のへそ公園等加古川と一体となった公園が整備されている。



水分れ公園は日本で一番低い中央分水界の最東端に位置し、水と親しみ、水を考えることができる公園である。



篠山城下町は京文化の影響を受けながら、丹波の都として栄え、丹波の気候風土の中で独特の発展を遂げた文化遺産が多数残された城下町である。また、篠山城では昭和 19 年に消失した大書院を平成 12 年 4 月に再建した。



日本へそ公園は、大正 8 年に発見された経緯度の交差点に位置している。また、公園の中を川と鉄道路線が横切り、駅があるという公園は全国的に珍しい。



東条湖は県立自然公園に指定されており、四季折々の自然美が堪能でき、周辺の遊園地やゴルフ場と一体となって関西のレジャー基地となっている。

図 - 2.3.3 加古川流域の主な観光・景勝地

(4)水辺を活かした公園や文化施設

加古川流域では、広大な河川敷を利用した加古川河川敷公園をはじめ、多くの河川敷公園が整備されており、多くの市民が利用している。

表 - 2.3.2(1) 水辺を活かした公園や文化施設 <播磨地域>

名称	概要	市町名
平荘ダム	四季の花が渡り鳥でにぎわう自然景観の美しいダム	加古川市
権現ダム	ダム湖周辺をサイクリングロードとして整備しており、自然豊かな風景を楽しむことができる	加古川市
加古川の河川敷公園	広大な河川敷を利用した公園が整備されている	加古川市、高砂市
堀川	堀川は、今も現存し、周辺には碁盤目状の古い町並みがある	高砂市
市ノ池公園	ため池と一体となった総合公園であり、水生植物やデッキを介した親水機能を有すると共に、せせらぎ水路なども整備されている	高砂市
いなみ野水辺の里公園	平成16年4月1日に県立から町立になり、園内では多くの生きものに出会えるビオトープ公園。学習展棟、自然レクリエーションゾーン、自然親水ゾーンがある	稲美町
天満大池公園	甲子園球場の8.5倍の広さの天満大池のほりにある天満大池公園は、春から夏までは新緑が美しく、散歩、釣り、野鳥観察などが楽しめ、水辺を活用して造られたバーベキューサイトがある	稲美町
日本へそ公園	経緯度の交点「日本のへそ」と津万滝	西脇市
西部井堰公園	井堰周辺の河川敷を利用した公園	西脇市
末谷池公園	ため池周辺を親水公園として整備し、旧木樋管が展示され、憩いの場となっている	西脇市
吞吐ダム	昭和61年に完成した農業・上水用ダム。観光エリアとして位置づける	三木市
リバーサイドパーク	美の川河川敷を利用した水辺の公園	三木市
美の川親水公園	山桜、雪柳、アベリアなどを植樹し、自然舗装の散歩道を整備	三木市
鴨池公園	鴨の飛来地として知られ、ハイキング・キャンプに利用されている	小野市
王子皿池親水広場	ため池の一部を公園として整備し、水に親しめ、水生植物による水質浄化などを含めた、ため池環境保全を図る	加西市
平池公園	水生植物があふれ、自然観察、釣り、散歩、ジョギングが楽しめる	加東市
千鳥川桜堤公園	千鳥川桜つつみモデル事業により平成6年に完成。親水性に配慮した整備と、「紅八重しだれ桜」が特徴的	加東市
播磨中央公園の子どもの小川	夏には子どもたちのハダカ天国となる、安全な人工の川	加東市
東条湖（県立自然公園）	昭和26年に完成した人造湖。四季折々の自然美が堪能できる、レクリエーションゾーン	加東市
糺屋ダム	農業用灌漑施設。広大な水面と自然条件が調和した景観	多可町
なか・やちよの森公園	翠明湖の湖畔に広がる公園。竹谷川沿いの森林、翠明湖を一望できる景観豊かな尾根筋など美しい四季をたのしむことができる。	多可町

表 - 2.3.2(2) 水や水辺を活かした公園や文化施設 <丹波地域>

名 称	概 要	市町名
篠山川桜つつみ公園	堤防に桜を植樹、水辺と緑の堤防で織りなす公園を整備	篠山市
鏑市自然公園	「ふるさとに水辺ゾーン」「憩いの丘ゾーン」からなる親水公園	篠山市
佐仲ダム	ダムを中心に芝生公園、釣場、遊歩道などが整備されている	篠山市
川代頭首工	川代渓谷上流では頭首工の完成により河道湖が形成されている	篠山市
砂防河川向山川整備	砂防事業により河川の修景を図っている	篠山市
砂防河川奥山川整備	砂防事業により河川の修景を図っている	篠山市
東条川	多自然型整備により河川の修景、魚が住める川に	篠山市
水分れ公園	日本一低い中央分水界を知ってもらうため、公園を整備	丹波市
今出川親水公園	周辺の自然を残し、親水公園として整備。レストハウスも整備され、自然薯そばが味わえる	丹波市
長谷大池公園	農業用ため池の周辺に水遊び場などを整備	丹波市
薬草薬樹公園	薬草薬樹約250種を植栽し、不老長寿の滝などを配している	丹波市
山南であい公園	野外ステージ、桜つつみ回廊、つり場を配した親水公園	丹波市

出典：兵庫県県民政策部

2.4 自然公園の指定状況

2.4.1 加古川流域内の公園

加古川流域では、「瀬戸内海国立公園」をはじめとして、県立自然公園の「播磨中部丘陵県立自然公園」、「多紀連山県立自然公園」、「朝来群山県立自然公園」、「清水東条湖立杭県立自然公園」、「笠形山千ヶ峰県立自然公園」、「猪名川溪谷県立自然公園」が指定されている。

【瀬戸内海国立公園】

瀬戸内海の多島海景観と、人びとの生活がとけこんだ自然の風景が特徴の公園で、沿岸の十県にわたって指定されており、兵庫県では六甲、淡路、西播のそれぞれの特色を持つ三地域が指定されている。

六甲地域：登山、ハイキングを中心とした、関西の代表的なレクリエーション地。

淡路地域：紀淡・明石・鳴門の三海峡の展望にすぐれているほか、白砂青松、断層崖などの海岸景観。

西播地域：家島群島の浮かぶ播磨灘の多島海景観

【多紀連山県立自然公園】

篠山盆地の北側に連なる多紀連山を中心とした地域と、北に竹田川の谷を隔てた高山地域、南に篠山川をはさんだ弥十郎ヶ岳地域が指定されている。

多紀連山：篠山盆地の北側、三岳を主峰に、西ヶ岳、小金ヶ岳、八ヶ尾山、三尾山の山々が連なる多紀連山は、別名多紀アルプスとも呼ばれ、多くの登山者やハイカーが訪れる。

妙高山：部分的ではあるが山頂部にモミ、アカガシ等の自然林が生育。法道仙人の開基と伝えられる神池寺があり、池の周辺にはモリアオガエルが生息する。

【朝来群山県立自然公園】

粟鹿山、朝来山、青倉山、三国岳等、兵庫県では比較的高峰に属する山々を中心とした地域が指定されており、日本海へ流れる円山川、瀬戸内海へ流れる加古川、市川の源流域が溪谷景観をつくりだす。

粟鹿山：公園内の最高峰(962m)。山頂からは、六甲連山、日本海、中国山地を一望できる。

立雲山：朝来山(756m)中腹の奇岩巨岩が点在するなかに、樹齢300年以上の山桜が群生し「但馬吉野」ともよばれる。竹田の町並みや竹田城跡が一望できる。

黒川自然公園：黒川ダム湖には駐車場を備えた自然公園センターがあり、ダム湖畔を周遊する歩道も整備されている。

【清水東条湖立杭県立自然公園】

清水寺にある御岳山、三草山、西光寺や及び東条湖を中心とした地域と、虚空蔵山及び和田寺山に囲まれ、すぐれた里山景観が見られる立杭集落周辺の2地域が指定されている。

東条湖：昭和26年に灌漑用貯水池として完成した人造湖。周辺には遊園地がある。

清水寺：境内には樹齢100年近いスギの植林地がある。御岳山頂上からは瀬戸内海や淡路島、六甲連山を眺望できる。

立杭：日本六古窯の一つ丹波立杭焼の里。農村と山並みが調和した良好な里山景観が見られる。

【笠形山千ヶ峰県立自然公園】

千ヶ峰、飯森山、入相山、笠形山の山地群が指定されており、公園区域内を流れている野間川、杉原川、越知川では、各所に渓谷が見られる。

笠形山：山容から別名「播磨富士」と呼ばれ、山頂からの展望は素晴らしい。登山コースの溪流では、竜が滝等の大小の滝や、奇岩、馬てい形のおう穴等が見られる。

千ヶ峰：東播磨地域の最高峰(1,005m)。山頂からは但馬、丹波、四国まで眺望できる。登山道にある三谷渓谷は、広葉樹が豊富で、雄滝、雌滝を中心に、早瀬と淵が連続している。

【播磨中部丘陵県立自然公園】

城山、善防山、法華山等 200～300m 山々、及びこれに連なる丘陵地から形成される。また、近畿自然歩道が東西に貫通している。

鴨池：毎年数千羽のカモが飛来し、その生態観測の適地である。池畔には、キャンプ場がある。

一乗寺：境内の植生は、シイ、カシ林。諸堂は鎌倉、室町時代のものが多く、三重塔は国宝に指定されている。

【猪名川渓谷県立自然公園】

大野山(753m)を最高峰とする北摂群山の一部が、三市町にまたがって指定されており、猪名川の侵食によってできた渓谷美と、一庫ダムにより生じた知明湖の景観が特色となっている。

大野山：頂上は360度の視界が開け、多紀連山や六甲山を見渡せる。山頂の近くにはキャンプ場も整備されている。

妙見山：山頂部にブナ、トチノキ、ホウノキなどの自然林が生育。ふもとから山上まではケーブルカーとリフトで結ばれ、山頂の無漏山真如寺には、参拝者やハイカーが多い。近畿自然歩道の起点でもある。

表 - 2.4.1 流域内の公園概要

公園名	面積 (ha)	指定年月日	公園の特徴
瀬戸内海国立公園	13,397	S31.5.1	レクリエーション地、多島海美
多紀連山県立自然公園	9,350	S32.4.10	山岳美、
朝来群山県立自然公園	14,766	S33.11.21	渓谷美、山岳美
清水東条湖立杭県立自然公園	8,850	S32.4.27	山岳美、森林美、湖畔美
笠形山千ヶ峰県立自然公園	6,150	S40.6.1	渓谷美、滝、山岳美
播磨中部丘陵県立自然公園	5,895	S36.3.30	池畔美、山岳美
猪名川渓谷県立自然公園	9,352	S32.4.27	山岳美



図 - 2.4.1 加古川流域の自然公園

2.4.2 加古川流域内の鳥獣保護法設置区域

加古川流域では、鳥獣保護法により猟銃禁止区域、保護区等が以下のとおり設定されている。

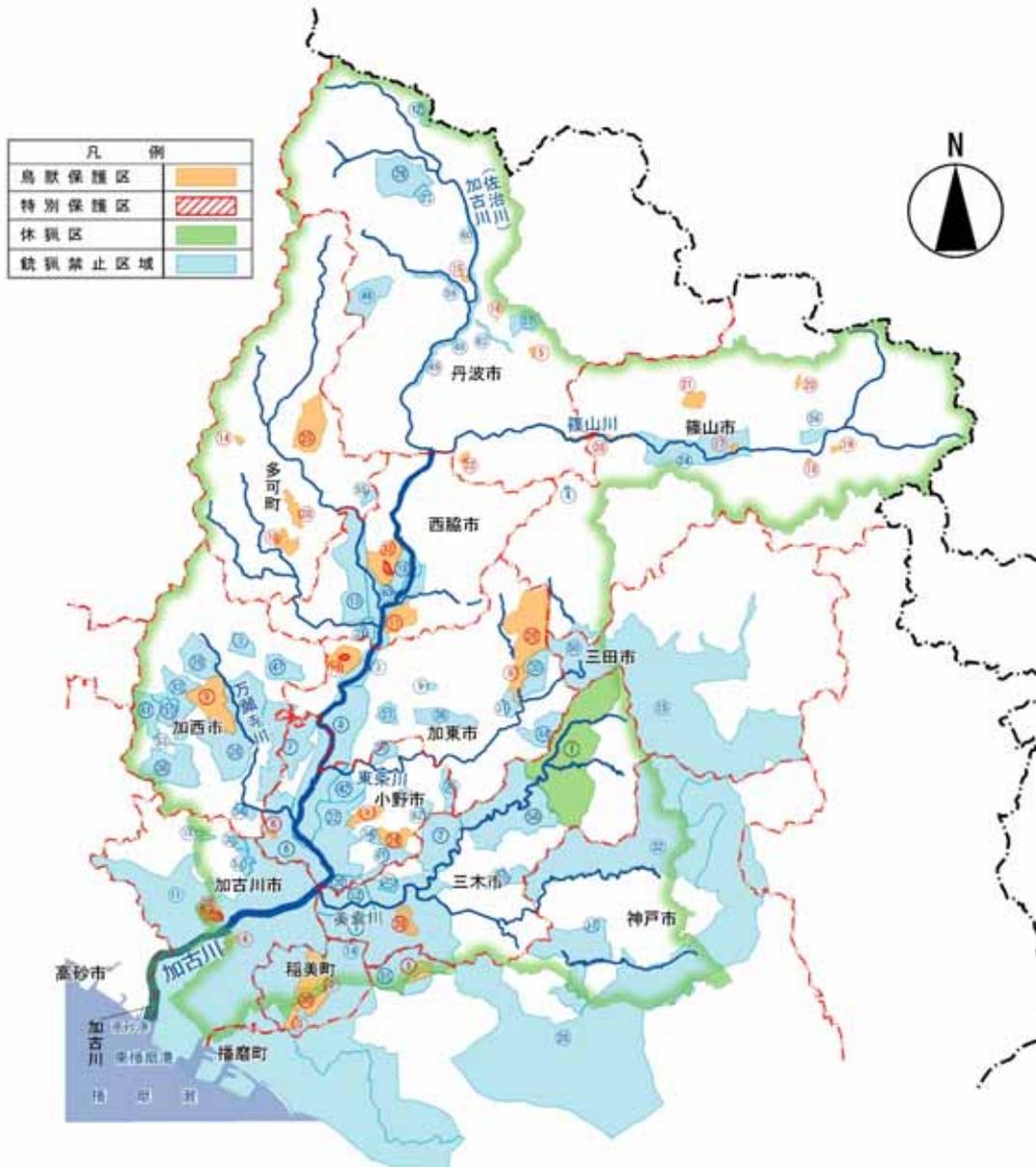


図 - 2.4.2 加古川流域の鳥獣保護区位置図

出典：平成 17 年度兵庫県鳥獣保護区等位置図

表 - 2.4.2 鳥獣保護区等指定状況

区分	No.	名称	区分	No.	名称
鳥獣保護区	1	雌岡山鳥獣保護区	特定 猟具 使用 禁止 区域 (銃)	1	三木市西部特定猟具使用禁止区域(銃)
	2	稲美北部鳥獣保護区		2	細川特定猟具使用禁止区域(銃)
	3	岡大池鳥獣保護区		3	滝野町加古川両岸特定猟具使用禁止区域(銃)
	4	日岡鳥獣保護区		4	黒石ダム特定猟具使用禁止区域(銃)
	5	柏原八幡鳥獣保護区		5	加西北部特定猟具使用禁止区域(銃)
	6	小野市男池鳥獣保護区		6	小野市来住町特定猟具使用禁止区域(銃)
	7	小野市浄谷鳥獣保護区		7	青野ヶ原特定猟具使用禁止区域(銃)
	8	加東市東条湖鳥獣保護区		8	小野・社・滝野特定猟具使用禁止区域(銃)
	9	北条鳥獣保護区		9	高室池特定猟具使用禁止区域(銃)
	10	五峰山鳥獣保護区		10	オノ池特定猟具使用禁止区域(銃)
	11	高松山鳥獣保護区		11	加古川特定猟具使用禁止区域(銃)
	12	西脇市西林寺山鳥獣保護区		12	いきものふれあいの里特定猟具使用禁止区域(銃)
	13	竹谷山鳥獣保護区		13	木谷山特定猟具使用禁止区域(銃)
	14	金蔵山鳥獣保護区		14	玉津岩岡特定猟具使用禁止区域(銃)
	15	甲賀山鳥獣保護区		15	三田特定猟具使用禁止区域(銃)
	16	石生鳥獣保護区		16	神出特定猟具使用禁止区域(銃)
	17	王地山鳥獣保護区		17	丹生山特定猟具使用禁止区域(銃)
	18	堂山鳥獣保護区		18	城山台特定猟具使用禁止区域(銃)
	19	波々伯部鳥獣保護区		19	津万井特定猟具使用禁止区域(銃)
	20	ツバ市ダム鳥獣保護区		20	小野市榎山特定猟具使用禁止区域(銃)
	21	矢代鳥獣保護区		21	鳴尾山特定猟具使用禁止区域(銃)
	22	山南鳥獣保護区		22	小野中央特定猟具使用禁止区域(銃)
	23	平荘湖鳥獣保護区		23	倉町野特定猟具使用禁止区域(銃)
	24	日吉鳥獣保護区		24	篠山特定猟具使用禁止区域(銃)
	25	中町妙見山鳥獣保護区		25	グリーンピア三木特定猟具使用禁止区域(銃)
	26	御嶽山鳥獣保護区		26	岩屋山特定猟具使用禁止区域(銃)
	27	椀屋ダム翠明湖鳥獣保護区		27	嬉野特定猟具使用禁止区域(銃)
	28	三木山森林公園鳥獣保護区		28	神戸特定猟具使用禁止区域(銃)
	29	川代鳥獣保護区		29	加西市西部特定猟具使用禁止区域(銃)
	30	稲美中部鳥獣保護区		30	秋津特定猟具使用禁止区域(銃)
区分	No.	名称		31	黒谷特定猟具使用禁止区域(銃)
休猟区	1	吉川町西部休猟区		32	神戸北特定猟具使用禁止区域(銃)
				33	権現ダム北特定猟具使用禁止区域(銃)
				34	小野市日吉特定猟具使用禁止区域(銃)
				35	三木市大村特定猟具使用禁止区域(銃)
				36	嬉野台特定猟具使用禁止区域(銃)
				37	石生特定猟具使用禁止区域(銃)
				38	善防山特定猟具使用禁止区域(銃)
				39	加西市中部特定猟具使用禁止区域(銃)
				40	西脇特定猟具使用禁止区域(銃)
				41	加西市北条特定猟具使用禁止区域(銃)
				42	小野市高山特定猟具使用禁止区域(銃)
				43	北条特定猟具使用禁止区域(銃)
				44	永福・横谷特定猟具使用禁止区域(銃)
				45	小野市中谷町特定猟具使用禁止区域(銃)
				46	三原特定猟具使用禁止区域(銃)
				47	加西市東部特定猟具使用禁止区域(銃)
				48	氷上加古川特定猟具使用禁止区域(銃)
				49	氷上南加古川特定猟具使用禁止区域(銃)
				50	今田南部特定猟具使用禁止区域(銃)
				51	権現ダム特定猟具使用禁止区域(銃)
				52	三木市西部第2特定猟具使用禁止区域(銃)
				53	加西市西長町大堂池特定猟具使用禁止区域(銃)
				54	加西市南部特定猟具使用禁止区域(銃)
				55	中町東安田特定猟具使用禁止区域(銃)
				56	篠山市雲部特定猟具使用禁止区域(銃)
				57	小野市下東条特定猟具使用禁止区域(銃)
				58	口吉川特定猟具使用禁止区域(銃)
				59	氷上葛野川特定猟具使用禁止区域(銃)
				60	氷上北特定猟具使用禁止区域(銃)
				61	匠台特定猟具使用禁止区域(銃)
				62	万勝寺町特定猟具使用禁止区域(銃)
				63	柏原川特定猟具使用禁止区域(銃)